

尾瀬山行報告書

さる2009年5月23, 24日、尾瀬に行ってまいりました。尾瀬沼や尾瀬ヶ原ではたくさんのおミズバショウがかわいらしく咲いていました。景色がきれいで、さまざまな鳥の鳴き声も聞こえ、木道を歩くのはとても楽しめました。また、燧ヶ岳は豪雪地帯だけあってまだまだ雪が残っていました。

行程は以下のとおりでした。

5月22日(金)：新宿駅－(高速バス)－

5月23日(土)：－(高速バス)－大清水－尾瀬沼ヒュッテ(テント設営)－燧ヶ岳－尾瀬沼ヒュッテ

5月24日(日)：尾瀬沼ヒュッテ－下田代－竜宮十字路－鳩待峠－(バス)－戸倉－(高速バス)－新宿駅

参加者は、M4比嘉、M3只左、M3森本、M2衛藤、M1今村、C1佐藤の合計6人でした。

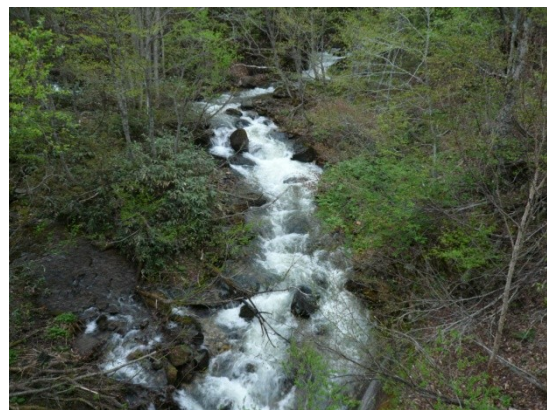
22日(金)の夜に新宿駅新南口のバスターミナルに集合して22:00発の夜行バス(関越交通)に乗りました。翌日23日(土)の朝早くに大清水に到着し、服装を整えたり朝食をとったりした後、4:00過ぎから行動を開始しました。



(左から衛藤、佐藤、比嘉、今村、森本)

最初は川沿いのゆるやかな上り坂が続き

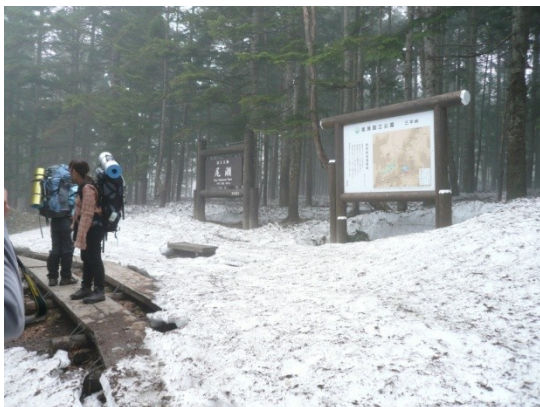
ました。歩いているうちにどんどん明るくなってきて、あと1か月で夏至だということを実感しました。



広い林道(沼田街道)を1時間ほど歩いたのち、一の瀬休憩所を過ぎたあたりからだんだん道が登山らしくなってきました。でも、さすが尾瀬といえますか、とてもよく整備されていました。



三平峠(尾瀬峠)には 6:00 過ぎに到着して少し休憩をとりました。山行の直前に尾瀬で行方不明になった方がいるというニュースがありましたが、その男性はこのあたりで迷ったらしいです。たしかに樹木に囲まれていて見晴らしが良いとはいえない場所でしたが、険しいとも思えず、驚きました。また、三平峠を出発してしばらくすると尾瀬沼が見えてきました。



尾瀬沼の周囲の木道では、すぐそばにミズバショウが群れになって咲いていました。



長蔵小屋や尾瀬沼ビジターセンターに着いたのは 7:30 過ぎでした。



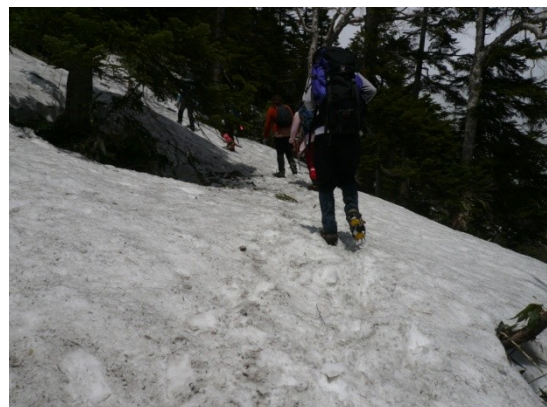
テントを尾瀬沼ヒュッテのキャンプ場に置き、登山に必要な荷物だけをザックに入れて身軽になりました。そして、9:00 前に燧ヶ岳に向かってふたたび歩き始めました。川には魚がいました。



最初は坂にもほとんど傾斜がなく、ほぼ平地の様だったので、たまに雪の中に突っ込んだりしつつ(先頭の衛藤さんは大変そうでしたが)、楽しく歩いていました。



でも、高度があがるにつれてだんだん坂が急になり、雪の中で靴が滑りやすくなったので、アイゼンをつけました。



左手には尾瀬沼がはっきりと見えていました。



さらに少し登ると、ダケカンバが集まって生えているところがありました(白くて最初はシラカバかと思いました)。木肌が美しかったです。



目印がなかなか見つからなくて、ルートを探すのが難しい場所もありましたが、家族で山に登るときには先導をつとめるという、目のいい佐藤さんのおかげで快調に歩みを進めることができました。

途中から雪や木が無くなりました。風が強く吹いていて、登山中の暑さが嘘に思えるほど寒かったです。でも、展望は素晴らしく、また、雲が動いているところもはっきりと見えて、きれいでした。



俎嵒(2346m)に着いたのは13:00 過ぎになりました。尾瀬沼と尾瀬ケ原の両方を眺めることができました。お昼ごはんを食べながら休憩をとりました。



荷物を置いて、山頂である柴安嶺(2356m)に向かいました。



アイゼンを外してきたため、最後の登りは少し大変でした。



山頂での記念写真です。(左から森本、佐藤、只左、今村、比嘉、衛藤)



残念なことに少し雲が厚くなってきており、みんなでお祈りしましたが、至仏山の全容を見ることはできませんでした。



下りるときはとても滑りやすく、楽しかったものの、ひやひやするときもしばしばありました。ピッケルだけはちゃんと柴安畠にも持ってきていて、本当に良かったと思いました。

俎畠から振り返って見ると、下りてきた時の跡がはっきりと見えました。



そして、15:00 頃に、尾瀬沼を眺めつつ、下山を開始しました。



下山時にはミノブチ岳と赤ナグレ岳の間の道を通りました。沼尻平まで、雪の道が長く続きました。



川のすぐそばを通るような箇所があったり、印があまりなくて道がわかりにくかったりと、下りには予想以上に時間がかかりました。でも、雪の上を歩くのはとても楽しくて、私はかなりはしゃいでしまいました。



平地に下りることができたのは18:00頃でした。木道の上を少し急ぎながらキャンプ場に戻りました。



夕暮れ時の尾瀬沼は、空の色と水の色が絶妙な雰囲気を醸し出し、神秘的でした。



夕食には衛藤さんオリジナルのスープとパスタをいただきました。そして、翌日の24日(日)にそなえて22:00頃の早めの就寝となりました。

24日(日)は5:00前に起きて尾瀬沼の周辺を散策しました。前日と違って風がやんでおり、水が鏡のように山をくっきりと映しだしていました。また、カッコウの鳴き声が沼全体に響いていました。



そして、朝食にリゾットを頂いたのち、7:30頃にキャンプ場を後にしました。少し雨が降りましたが、食べているうちにやんでくれて、運が良かったです。



沼尻の休憩所まで沼の近くの道を進みました。雨のせいか木道がかなり滑りやすくなっていました。



ここで小休止したのち、尾瀬沼に向かってふたたび歩き始めました。

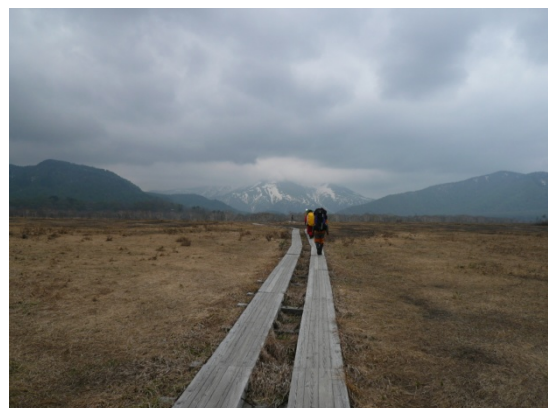
木道もだんだん乾いてきて歩きやすくなり、また、道沿いの川ではコケが集まって生えているようなところもありました。また、ブナ林の中は気持ち良かったです。



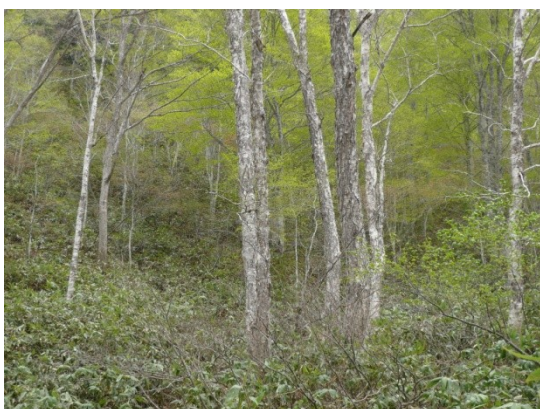
下田代十字路には 11:00 頃に着きました。



長めの休憩をとり、11:30 頃に出発しました。至仏山を正面に臨みながら、ひらけた道を進みました。



このあたりからほかの登山客と頻繁にすれ違うようになってきたような記憶があります。歌にあるとおり「水芭蕉の花が 咲いている 夢みて咲いている 水のほとり」といった雰囲気のところでした。





13:00 過ぎに至仏山のふもとでと休憩をとった後、鳩待峠に急いで向かいました。



なんとコースタイムの3/4という早さで到着することができ、14:30 発のバスに乗ることができました。結果、戸倉で温泉に入る時間もでき、また、16:10 からの新宿駅行きのバスにも余裕をもって乗ることができました。そして、新宿には20:30 過ぎに到着し、無事解散となりました。